



医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院
千葉芙蓉病院
きゃらの樹ケアセンター

芙蓉会

理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

先日、高齢者住宅関連のシンポジウムに参加して来ました。ここ数年、個人的な繋がりも増え、今回のセミナーでも数多くの知人が講師役として、活躍されておりました。「地域包括ケア」をテーマにした座談会形式のセミナーを傍聴した中で興味深かったのは、ご利用者を地域で支えるための仕組み作りには「ご利用者にとって最もハッピーなのは、ご利用者個人の尊厳が重要視され、住み慣れた家に住み続けられること」という視点に立った取り組みと実践が重要だということ。講師の方々の力説に頷くと同時に、エールをいただき、大変有意義な時間を過ごしました。

さて、現在法人内においては、介護療養病床を医療療養病床に転換する準備に日々追われております。順調にいけば、東京都町田市のみよう病院は今年11月1日より、千葉県君津市の芙蓉病院では、来年1月1日より正式に転換病床をスタートできる予定です。

この「やすらぎ」の誌面におきましても過去に何度か介護療養病床転換についてコメントさせていただきましたとおり、10年前に介護療養病床の廃止案が初めて発表された時から、法人内部では、厚労省主催の検討会議事録、関連する有識者の考え方を入手する度に協議を積み重



ねて参りました。この度、医療療養病床転換への舵取りを皆様にご報告し、ご利用者の多様なニーズに応えつつ、継続してお世話をさせていただける現況に、改めて喜びと責任を感じております。

春先には、スタッフへの説明会を開催しました。医療療養病床への転換にあたり、対象のご利用者の病棟移動も発生しましたが、ご家族の皆様にもご理解を賜り大変感謝しております。

「ご利用者を地域で支えあう」「地域のニーズに答える」という地域包括ケアの大義名分から逸脱していないかとの葛藤もございましたが、最終的には、法人自身の戦略よりもご利用者のニーズに合った変化をしなければならないと考え、転換に踏み切った次第でございます。今後もしもご利用者皆様の尊厳を重視することを命題に、運営をさせていただきます。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)



- ・ふよう病院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション

人生の先輩に優しさを込めたケアを

千葉芙蓉病院 看護部長 池田知美

千葉芙蓉病院は、山の上の芙蓉会の医療福祉施設群に存在します。JR 久留里線（ディーゼルカー）の車窓から見える丘の上の白亜の建物に、かつての高校生は「お城みたい。あそこには誰が住んでいるのだろう？」と思いを巡らせたそうです。高校生はその後看護学生となり、老年期看護実習の一環で芙蓉会を訪れる機会を得ました。初めて足を踏み入れる芙蓉会にドキドキしたことを今でも覚えています。広大な敷地内に病院・特別養護老人ホーム・有料老人ホーム等いくつもの施設が集まり、その当時としては革新的で目をみはるものでした。引率の教授からは「高齢者の理想郷」との言葉が聞かれました。彼女は卒業後、一般病院勤務ののち、平成 12 年に芙蓉会に採用され勤務する事になりました。それが私です。不思議な御縁と感じています。



高齢者は急な状態の変化がみられることが多く、その都度対応に迫られます。一度経験した方ならお分かりかもしれませんが、ご家族はどうしていいか悩んだり、仕事との両立に苦しんだりするものです。芙蓉会は、千葉芙蓉病院（療養型医療施設）の他、きやらの樹ケアセンター（介護老人保健施設）、千葉芙蓉ハーモニー（居宅介護支援）・千葉芙蓉ステーション（訪問介護）を有し、ご利用者・ご家族が困った時、すぐ相談にのってくれるケアマネージャーがおります。入院が必要な場合は私どもが協力させていただきます。

きます。各事業所が連携し、ご利用者をケアいたします。

地域の特性上高齢者が多く、老々介護や独居世帯も少なくない傾向にあり、地域の皆様のお手伝いができれば、と常々考えております。昨今は、東京や神奈川など他県からの入院のお問い合わせも増えております。一般病院と違い、病気の積極的な治療というよりも、苦痛を和らげる緩和的な対応を主としておりますが、人生の先輩に対し優しさをこめてケアする事をモットーに日々励んでおります。

看護部のまとめ役の他、入院相談窓口も担当しておりますので、何かお困りの事がありましたら、いつでもご連絡ください。

院内職員研修会報告「認知症について」 29 年 7 月開催 発表者 佐藤院長

<内容>

- ①生物・医学的視点からの認知症
- ②心理学的・生活視点から認知症
- ③認知症ケアの基本
- ④認知症ケアの理念

<まとめ>

ケアの基本は認知症の方の心理、体験している世界等を理解する事。ケアの理念は問題対処型ケアではなく利用者本位のケアである事。



院内職員研修会報告「医療ガスについて」 29 年 8 月開催 発表者 日本メガケア（株）

<内容>

- ①液化酸素供給設備備蓄量について
- ②予備酸素供給設備備蓄量について
- ③医療ガス警報版について
- ④酸素ガスの事故事例について

<まとめ>

365 日、24 時間いつでも連絡がとれる管理体制となっているので何かあったら自己判断せずに連絡をとるように徹底したい。



院内職員研修会報告「認知症について」

29 年 7 月開催 発表者 佐藤院長

<内容>

- ①生物・医学的視点からの認知症
- ②心理学的・生活視点から認知症
- ③認知症ケアの基本
- ④認知症ケアの理念

<まとめ>

ケアの基本は認知症の方の心理、体験している世界等を理解する事。ケアの理念は問題対処型ケアではなく利用者本位のケアである事。



院内職員研修会報告「医療ガスについて」

29 年 8 月開催 発表者 日本メガケア（株）

<内容>

- ①液化酸素供給設備備蓄量について
- ②予備酸素酸素供給設備備蓄量について
- ③医療ガス警報版について
- ④酸素ガスの事故事例について

<まとめ>

365 日、24 時間いつでも連絡がとれる管理体制となっているので何かあったら自己判断せずに連絡をとるように徹底したい。



院内職員研修会報告「感染対策①」

29 年 5 月開催 発表者 (株) 明治

<テーマ>

食中毒について

<内容>

1. 食中毒について

- ①食中毒の分類～原因物質別～
- ②月別食中毒発生件数
- ③細菌性食中毒の発生機序
- ④食中毒の予防三大原則
- ⑤食中毒予防のポイント

2. 手洗いのロールプレイング→模範的な手洗いの実演

<まとめ>

食中毒予防の3大原則 1. 菌をつけない 2. 菌を増やさない 3. 菌をやっつけるの徹底の為に
も正確な手洗いが不可欠である。



院内職員研修会報告「医療安全」

29 年 6 月開催 DVD 視聴

<内容>

DVD「患者・家族とのトラブル回避コミュニケーション鑑賞」

<まとめ>

多種多様な専門分野に分かれている病院という組織で円滑に仕事をする為にはコミュニケーションが不可欠であるとよく分かる内容だった。具体例もいくつかあったのですぐに仕事に生かすよう努力したい



院内職員研修会報告「院内感染制御の基礎」 発表者 丸石製薬

<テーマ>

感染経路を遮断する

<内容>

丸石製薬から講師の方に来ていただき、研修を行いました。手洗いや手ぶくろ・マスク・ガウン（エプロン・予防着）等は、感染経路を遮断するためのものだと、改めて学びました。ここ数年、一般の方にも普及してきた「咳エチケット」も同様です。

研修の最後は、実際の手洗い後、グリッターバッグを使用し、洗い残しがないか確認しました。

<感想>

爪の付け根や指の間など洗い足りないところがありました。新人の職員を含め皆が、初心にもどって注意したいと思います。



福利厚生 永年勤続表彰&バーベキューパーティー

8月9日、今年度の永年勤続表彰はホテルオークラ、アカデミアパーク内で行われ、20年表彰5名、10年表彰7名、5年表彰5名の合計17名の職員が表彰状と金一封を理事長より授与され

ました。表彰式後はバーベキューパーティーが行われ、楽しい一時を過ごすことができました。

きっと、普段とは違った雰囲気の中で親睦の深まる楽しい時間となったことでしょう。



千葉芙蓉病院 イベント報告

七夕に思うこと

七夕と聞くと私は仙台を思い出します。

もう 40 年以上も前になりますが、たった 10 軒しかなく道路も舗装されていない田舎から出てきた私は、仙台駅前の横断歩道の上から 4 車線の道路と 10 階以上のビルが立ち並ぶ姿を見て感動したこと、通勤時間帯にどこからわいてきたのかと思うほどの人やバスの数に圧倒されたことを思い出します。

私の田舎では、笹に短冊と少しの飾りをつけていましたが、仙台の七夕の笹は 1 本の竹に 1 年かけて飾りを作ります。手を伸ばしてもなかなか届かないその 1 本 1 本の見事な飾りに圧倒されました。

七夕の朝、仙台の駅前から青葉城の入り口にある医師会看護学院までの約 1 キロあった通学途中のアーケード街を、黒いワンピースの制服を着て走りながら七夕の飾りに手を伸ばし、七夕祭りを体中で感じていた学生時代の事を思い

出します。

仙台の七夕の笹飾りを見たことのないこの病院の患者様にも見せてさしあげたいと、七夕の季節がくるたびに思いながら準備をしています。



きゃらの樹ケアセンター イベント報告

かずさあけぼの保育園交流会

6月28日、近隣の保育園の園児との交流会が開かれました。きゃらの樹の送迎車3台で保育園に園児たちをお迎えに行きました。数分で施設に到着しましたが、車中園児たちは元気いっぱい。21名の園児たちは、職員と保育園の先生の誘導で3階フロアへ。きゃらの樹からは、51名のご利用者がお出迎えをしました。フロアに着くと、響き渡るくらいの大きな声でご挨拶。



みんなの息が整ったところで曲が流れ、数曲、音楽に合わせて思いっきり体を動かし、かわいい演技を披露してくれました。ご入所者も楽しそうに、ご一緒に手や足でリズムをとられていました。帰り際、瞳をキラキラさせながら「また来ます」と手を振りお別れのご挨拶。15分間という短い時間ではありましたが、楽しい交流の時間となりました。



七夕

7月7日、七夕祭り。今年も利用者様に彦星様・織姫様の仮装をお願いしました。総勢99名が参加。各階ともに主役が登場すると盛大な拍手で歓迎され、職員の誘導で定位置へ。しばらく拍手は鳴りやみませんでした。進行職員より“七夕”の由来について説明がありました。“年に一度しか逢えない二人”“いろんな説があるのですが、今回の奥深い話に、「えっ」という表情や、

うなずきながら耳を傾けているご利用者の姿がみられました。次に皆さんの思いが込められた短冊を数枚ほど読み上げさせていただきました。ご自身のこと、家族へも想い、今やりたいこと等々願いはいっぱいでした。最後に皆様の願いが天に届くよう七夕の歌を唄いました。皆様の願いが叶いますように。



医療法人社団芙蓉会 きゃらの樹ケアセンター

見学随時受付中



〒292-0503

千葉県君津市広岡 375-3

TEL 0439-50-7333

FAX 0439-50-7399